

デジタルアーツ株式会社  
(証券コード 2326)



平成28年3月期 第3四半期決算  
(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

補足説明資料  
平成28年1月28日(木)

# 平成28年3月期 第3四半期決算サマリー

---

*DigitalArts.*

個別（単体）業績

■ 国内販売好調継続 前年同期比大幅増収・増益となる

売上高 2,744 百万円 (前年同期比 118.3%)  
 経常利益 844 百万円 (前年同期比 144.1%)

(単位：百万円)

個別	平成27年3月期	平成28年3月期	
	第3四半期（実）	第3四半期（実）	前年同期比
売上高	2,319	2,744	118.3%
経常利益	586	844	144.1%
四半期純利益	366	559	152.6%

連結業績

■ 個別業績好調 前年同期比大幅増収・増益となる

売上高 2,747 百万円 (前年同期比 118.1%)  
 経常利益 610 百万円 (前年同期比 118.2%)

(単位：百万円)

連結	平成27年3月期	平成28年3月期	
	第3四半期(実)	第3四半期(実)	前年同期比
売上高	2,325	2,747	118.1%
営業利益	466	604	129.6%
経常利益	516	610	118.2%
四半期純利益	302	360	118.9%

# 平成28年3月期 第3四半期決算について

---

DigitalArts.

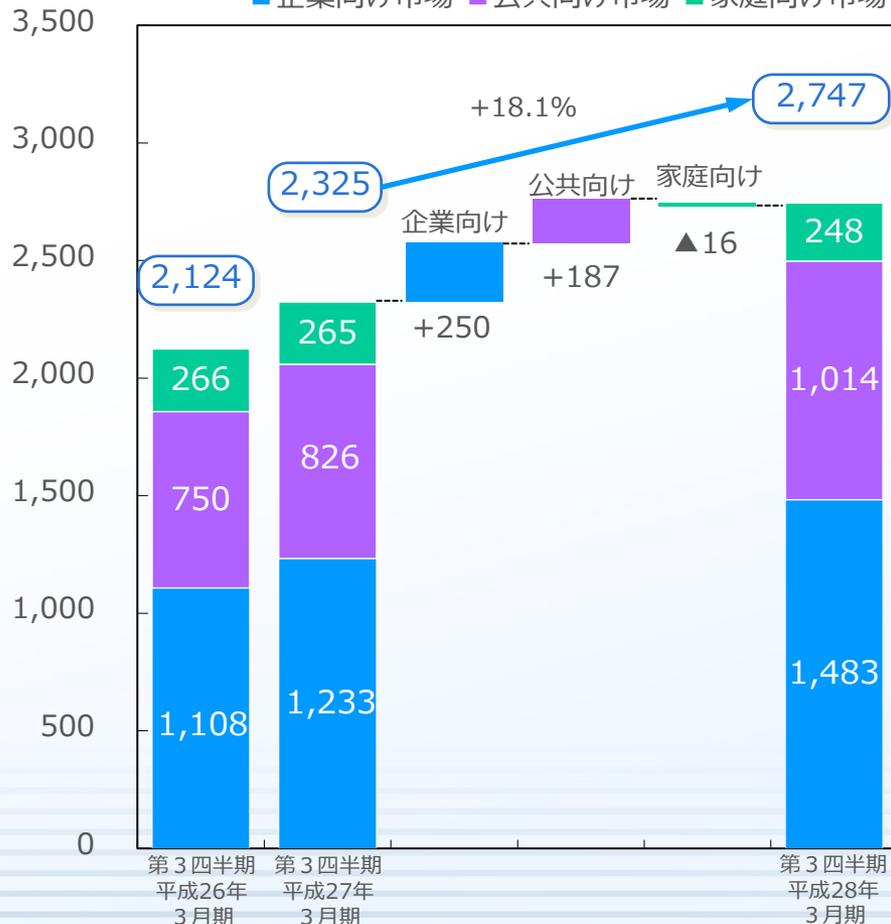
# 市場別売上高について

- 連結売上高は前年同期比 **+421** 百万円と大幅増収
- 引き続き企業向け市場、公共向け市場で主力製品の販売が順調に推移

## 市場別売上高の推移（連結）

(単位：百万円)

■ 企業向け市場 ■ 公共向け市場 ■ 家庭向け市場



**連結全体**

**2,747** 百万円

(前年同期比 +421百万円 / +18.1%)

**企業向け**

**1,483** 百万円

(前年同期比 +250百万円 / +20.3%)

**公共向け**

**1,014** 百万円

(前年同期比 +187百万円 / +22.7%)

**家庭向け**

**248** 百万円

(前年同期比 ▲16百万円 / ▲6.2%)

## 企業向け市場

### ■ 主力製品の販売が順調に推移

売上高：1,483 百万円（前年同期比+20.3%）

i-FILTER	+13.8%
m-FILTER	+25.4%
D-SPA	+35.6%
FinalCode	+279.9%

## 公共向け市場

### ■ i-FILTERの大型案件で大幅伸張

売上高：1,014 百万円（前年同期比+22.7%）

i-FILTER	+24.7%
m-FILTER	+1.2%
FinalCode	+149.2%

## 家庭向け市場

### ■ 市場環境は厳しいものの、底固く推移

売上高：248 百万円（前年同期比▲6.2%）

- ✓ パソコンの国内出荷台数が大幅に減少していることに加え、一部のISP業者とのアライアンス終了に伴う減収要因があったものの、「i-フィルター® for マルチデバイス」の販売が好調に推移し底固く推移

## 海外関連市場

### ■ 案件の積上げ、パートナーとの契約が進む

- ✓ グローバル企業にダイレクトセールスを行い、具体的な案件の創出が進む
- ✓ 販売チャネル活動の成果として、6社のパートナーと代理店契約を締結
- ✓ インサイドセールス（電話販売）開始

## ■ 企業および公共向け製品 トピックス

### i-FILTER (サーバー版)

- フィルタリング機能のみならず、標的型攻撃に対してのプロキシの有効性が再認識された
- 特に大手企業のセキュリティ対策投資が積極姿勢に転じる中、他社製品と「i-FILTER」の連携オプションにより実現するハイクオリティな情報漏洩対策が、大手企業のニーズを捉え、大規模新規案件の獲得が進む

### i-FILTER (モバイル端末版)

- 「i-FILTER」と同様、出口対策として有効であることや管理者があらかじめ端末内にWebアクセスデータを残さないように設定しておくことで情報漏洩対策としても有効であることから導入が進む
- 特にセキュアブラウザに対する意識の高い金融機関を中心に導入が加速
- 先進的な学校法人・教育委員会を中心に、ICTリテラシーを早い段階から学ばせることを目的として、タブレット端末等を活用した「ICT教育」を推進する動きがみられ、セキュアな運用を担保するため「i-FILTER ブラウザー&クラウド」の導入が進む

### m-FILTER

- 他社製品と「m-FILTER」の連携により実現するハイクオリティな情報漏洩対策が、大手企業のニーズを捉え、大規模新規案件の獲得が進む

## ■ 企業および公共向け製品 トピックス

### FinalCode

- 標的型攻撃による情報流出・組織内部関係者による意図的な漏洩などの事件・事故が相次ぎ、従来のファイルのパスワードロックという対応では不十分であるとの認識が拡大
- 手軽に導入が可能な「FinalCode」のASPサービス（クラウド版）の販売が好調に推移
- 前連結会計年度以前にご導入頂いたお客様からは「FinalCode」の有効性・ユーザビリティが高く評価され、追加ライセンスを購入頂く傾向が顕著となる
- 従来より大規模導入を検討されているお客様から発注を頂く案件が出始める

## ■ 家庭向け製品 トピックス

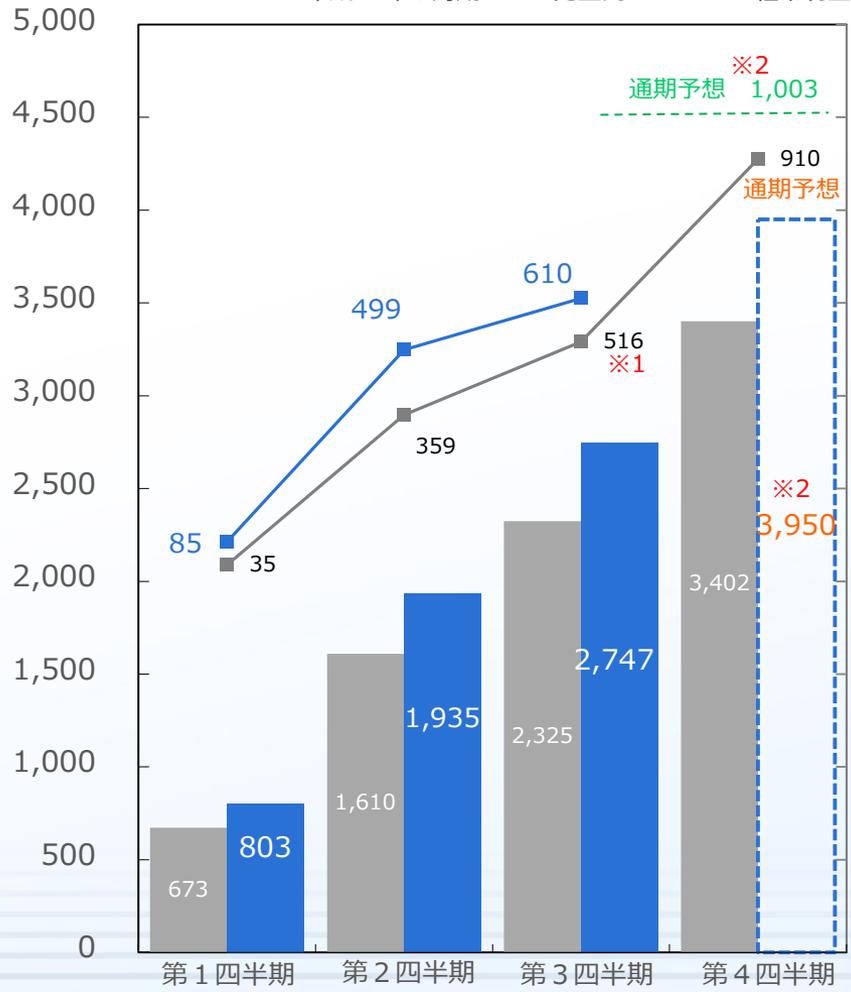
### i-フィルター

- パソコンの国内出荷台数が大幅に減少していることに加え、一部のISP業者とのアライアンス終了に伴う減収要因があったものの、フィルタリング設定の管理負担を軽減できるように、1つのシリアルIDでWindows、iOS、Android™の3つのOSでご利用いただける「i-フィルター® for マルチデバイス」の販売が好調に推移
- 前連結会計年度に導入された任天堂株式会社の携帯型ゲーム機「Newニンテンドー3DS™」向けの売上等により底固く推移

## 業績の推移（連結）

(単位：百万円)

平成28年3月期 ■：売上高 ▲：経常利益  
 平成27年3月期 ■：売上高 ▲：経常利益



### 売上高

- 前年同期比：118.1%
- 進捗率
- ※3 通期予想比：69.6%  
(前年同期 69.8%)

### 経常利益

- 前年同期比：118.2%
- 進捗率
- ※3 通期予想比：60.9%  
(前年同期 67.1%)

※1 前年同期の経常利益には為替差益46百万円（当期は0.5百万円）を含む  
 ※2 平成28年3月期の予想は、平成27年10月29日公表の業績予想  
 ※3 「通期予想比」は平成27年10月29日公表の修正後業績予想に対する比率

# 売上原価と販売費及び一般管理費の状況



売上原価 661 百万円 (前年同期比 ▲4.3%)  
 販売費及び一般管理費 1,481 百万円 (前年同期比 +26.8%)

過去の大規模開発に伴う減価償却が前連結会計年度で完了し償却負担が減少。一方で、海外展開に伴う人件費の増加や国内・海外のイベント費用が増加。

(単位：百万円)

連結	平成27年 3月期	平成28年3月期			
	第3四半期 (実)	第3四半期 (実)	前年同期比	対前年同期 増減額	主な増減要因
売上原価	690	661	▲4.3%	▲29	
労務費	283	264	▲6.6%	▲18	過去の大規模開発に伴う減価償却が 前期で完了
減価償却費	247	210	▲15.3%	▲37	
他勘定振替その他製造原価	159	186	+16.9%	+27	
販売費及び一般管理費	1,168	1,481	+26.8%	+313	
人件費	592	788	+32.9%	+195	海外展開に伴う現地人員増加
広告宣伝費	125	190	+51.2%	+64	国内・海外のイベント費用増加
その他	449	502	+11.9%	+53	人材採用費等の増加

# 平成28年3月期 通期業績の予想

<平成27年4月1日～平成28年3月31日>

---

*DigitalArts.*

個別（単体）業績予想

■ 国内販売の好調持続 修正予想ベースで推移

売上高 39.1 億円 （前年実績比 +519百万円 / +15.3% 修正増減率 4.0%）

経常利益 13.9 億円 （前年実績比 +473百万円 / +51.2% 修正増減率 14.3%）

（単位：百万円）

個別	期首予想	修正予想		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	3,765	3,915	149	4.0%
経常利益	1,224	1,399	175	14.3%
当期純利益	759	924	165	21.8%

連結業績予想

■ 国内販売の好調持続により連結も修正予想ベースで推移

売上高 39.5 億円 (前年実績比 +547百万円 / +16.1% 修正増減率 3.9%)  
 経常利益 10.0 億円 (前年実績比 +92百万円 / +10.2% 修正増減率 10.2%)

※なお、費用には、グローバルでの販売・サポート体制構築のための投資を追加しております

(単位：百万円)

連結	期首予想	修正予想		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	3,800	3,950	149	3.9%
営業利益	910	1,000	90	9.9%
経常利益	910	1,003	92	10.2%
当期純利益	548	577	29	5.4%

## ■ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

平成28年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の33.7%

平成28年3月期年間剰余金配当予想額は1株当たり14.00円

	1株当たり配当金			連結配当性向
	中間	期 末	合計	
平成27年3月期	5.00	※1 9.00	14.00	36.6%
平成28年3月期（予想）	7.00	7.00	14.00	※2 33.7%

※1 創立20周年記念配当の4.00円を含んでおります

※2 最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月8日に公表した平成28年3月期の業績予想を平成27年10月29日に修正しております  
当該修正に合わせ、連結配当性向（予想）も変更しております

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示します。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しています。

- ・デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER/i-FILTER EndPoint Controller、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File ScanおよびD-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- ・FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。
- ・その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

**DigitalArts®**

-より便利な、より快適な、より安全な  
インターネットライフに貢献していく-